

展開する事業群(3-2-1)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(2)	生活環境の整備による子育ての支援
基本施策分野		豊かな自然の活用と保全

事業名称	事業内容(細事業)	19年度実績
自然体験活動等の促進	自然体験活動の促進 (薪甘南備山生活環境保全林の拡充など)	薪甘南備山生活環境保全林の維持管理を行った。(平成18年度 同)
	野外活動のつどい	(再掲2-(1)-)
	子どもの日(野外活動に親しむ日)無料開放	(再掲2-(1)-)
	土曜わくわく体験教室	(再掲2-(1)-)
	学校田、学級園等での野外活動体験活動の推進	各小学校で総合的な学習、特別活動の時間の中で実施。(平成18年度 同)
自然観察会の実施	自然観察会の実施	きょうたなべ環境市民パートナーシップとホタルを見守る取組を実施。また、里山再生に向けた取組の中で植物観察などを実施。(平成18年度 同)
水と緑のネットワークの推進	広幅員道路や河川を利用した線的緑化と自歩道のネットワーク化	河川整備と連携した取り組みのため、現在河川整備中である。(平成18年度 同)

緑化の推進	誕生記念樹配布の実施	()は平成18年度 H.19年11月に133人(126人)、H.19年3月に126人(134人) 合計259人 (260人)に配布。
	市民記念植樹祭の実施	H.19年4月に 12組(平成18年度 15組)が記念植樹を行った。
美化意識向上のための啓発	市民一斉清掃の推進	2回実施(延べ45団体)、参加者13,388人 (平成18年度 2回実施(延べ48団体)、参加者12,924人)
	美化啓発看板の設置	不法投棄防止看板50枚(平成18年度 100枚)を制作
	空き地除草の指導	市内160箇所の空き地の除草指導を実施(平成18年度 同)
市民環境セミナーの実施	市民環境セミナーの開催	2月24日、参加者 約80人(平成18年度 同)
循環型社会の構築	ごみの分別収集の徹底 (ごみ収集カレンダー、広報紙、ホームページ等により告知し、ごみの分別を周知徹底)	ごみ収集カレンダー、広報誌及びチラシによるPR,ホームページによるPRなどを行った。 広報誌への掲載 5回(平成18年度 8回) チラシの配布 3回(平成18年度 4回)
	家庭生ごみ自家処理容器等設置費補助 (家庭から排出される生ごみを自家処理してもらうことによりごみの減量化を図る。購入金額に対して補助金交付)	補助件数 32件(平成18年度 38件)
	再生資源集団回収事業補助 (家庭から排出されるごみの内、再生できるごみをリサイクルしてもらうことにより、ごみの減量化を図る。リサイクル量に応じて補助金交付)	補助団体数 74団体(平成18年度 72団体) 2,673t(平成18年度 2,614t)
	教室・講座の開催 (ごみの減量化施策、情報等についての講演等)	年間 2回の開催を行った。(平成18年度 1回)

展開する事業群(3-2-2)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(2)	生活環境の整備による子育ての支援
基本施策分野		子どもの遊び場・交流の場の充実

事業名称	事業内容(細事業)	19年度実績
身近な遊び場の整備	ストリートバスケット設置	興戸 宮ノ前公園1箇所を設置(普賢寺公民館横広場1箇所)
体育館・運動施設の開放	スポーツに親しむ日	毎月 1回 土曜日 有料者(100円)340人(平成18年度 684人) 無料者(小学生未満)100人(平成18年度 85人)
公園の新設、整備	近隣公園の整備	防賀川公園の整備 四阿工2基、円形広場 遊戯施設1式、植栽工1式 (平成18年度 同公園多目的コ-ト、フットサルコ-ト、駐車場等整備)
	街区公園の整備	三山木地区特定土地区画整理事業区域内に2箇所の公園を整備した。(平成18年度 同実施設計) 角田いこい公園 A=1,600㎡ 広場及び遊戯施設1式 田中みなも公園 A=3,000㎡ 広場及び遊戯施設1式
	公園遊具の安全点検の推進	点検実施公園箇所数 N = 143箇所/月(その他公園N = 13箇所含む){平成18年度 N=141箇所/月(その他N=13箇所)}。また、老朽化に伴う公園遊具の交換をN = 8基行う。(6基)
緑道の整備	防賀川緑道の整備	

まちづくり事業での配慮 (三山木地区特定土地区画整理事業関係)	公共施設(公園等)の整備改善と宅地の利用増進	()は平成18年度 <ul style="list-style-type: none"> ・1号、3号公園完成。平成20年5月供用開始。 ・家屋移転対象戸数153戸のうち、130戸が完了した。(116戸) ・家屋移転進捗率85.0%(75.8%) ・仮換地指定率 82.2%(73.2%) ・使用収益開始率 39.9%(31.8%)
	街路事業、公園事業、高質空間形成施設整備事業、地域生活基盤施設整備事業、都市再生土地区画整理事業	・早期の土地利用を促進するため、都市計画道路等の築造工事を施工した。 (平成18年度 同)

展開する事業群(3-2-3)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(2)	生活環境の整備による子育ての支援
基本施策分野		安心・安全の生活環境の確保

事業名称	事業内容(細事業)	19年度実績
登下校時の安全対策	登下校時の安全対策 ・緊急用の笛の配布	小学校全児童を対象にホイッスルを775個配布(平成18年度 673個)
施設の安全対策	保育所、幼稚園、小・中学校等各施設の安全対策	各保育所施設での防犯対策・研修(平成18年度 安全研修、ネットランチャ - 設置)
		平成16年～17年の耐震調査の結果をふまえ、各学校の耐震化の工事を順次実施。平成19年度は大住中学校、田辺東小学校の休憩室、便所棟等から実施。
子ども緊急避難場所等の指定	子ども緊急避難場所等の指定() (子どもが犯罪等に巻き込まれることを防止するため、商店等を活用した子ども緊急避難場所等の指定)	京都府警察において「こども110番のいえ」制度が平成9年度から発足しており、各地区の商店等が協力している。(平成18年度 同)
地域の防犯パトロール支援	京田辺市青少年問題連絡協議会防犯パトロール支援 (防犯パトロール、パトロール表示と横断幕による啓発活動)	7月29日 キララフェスティバル会場周辺において青少年健全育成啓発パトロール 夏休み期間中 青少年の生活環境調査及び地域パトロール(平成18年度同)
地域での防犯対策の充実	防犯灯の設置及び管理	防犯灯設置21灯設置(平成18年度 36灯) 防犯灯電気代補助金 4,939灯(平成18年度 4,700灯)
	地域防犯体制の育成() (地域の防犯活動の芽を育成し、交流とネットワーク化の構築)	地域防犯組織への支援を行った。 府民防犯週間における地域防犯啓発活動の実施 (平成18年度 同)

交通安全対策の充実	交通安全施設の設置及び管理	道路反射鏡設置 24基(平成18年度 33基)
	交通安全意識の啓発	交通安全運動の実施 2回、シートベルト・チャイルドシート着用推進キャンペーン 1回を行った。(平成18年度 同)
放置自転車対策の充実	自転車マナーの向上の啓発	自転車マナーアップキャンペーンを 2回実施した。(平成18年度 同)
あんしん歩行エリア整備事業計画	交通事故多発エリア(田辺地区)における事故抑制の実施計画策定()	あんしん歩行エリア地区調整会議により、進行管理を実施(ヒヤリハットマップ棟作成)
道路整備	幹線道路の整備	南田辺三山木駅前線 用地買収補償(建物等補償調査業務委託等)
	準幹線道路の整備	()は平成18年度 一休ヶ丘団地9号線 L = 36m(60.7m) 興戸二又線 L = 165m(実施設計) 出垣内多々羅線道路舗装 A = 663m ² (L = 128m)
まちづくり事業での配慮 (三山木地区特定土地区画整理事業関係)	鉄道高架並びに公共施設(公園等)の整備改善と宅地の利用増進	(再掲3-(2)-)
	街路事業、公園事業、高質空間形成施設整備事業、地域生活基盤施設整備事業、都市再生土地区画整理事業	(再掲3-(2)-)
防災対策の推進	災害時の要援護者対策の推進 (市防災計画において、災害の影響を受けやすい乳幼児・妊産婦等への支援・救助体制を整備)	要配慮者実態調査の実施
有害環境対策の推進	地域環境浄化活動の推進 ・京都府社会環境浄化推進員の活動 ・綴喜地区環境浄化連絡協議会の活動	年4回の推進員による見回り、年4回の理事会・幹事会開催、2月に研修会開催、7月に京都府との立ち入り調査 11月に 啓発のためのちらし配り(平成18年度 同)

展開する事業群(3-2-4)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(2)	生活環境の整備による子育ての支援
基本施策分野		子育てバリアフリーの推進

事業名称	事業内容(細事業)	19年度実績
都市施設・公共施設のバリアフリー化とユニバーサルデザインの促進	公共施設等のバリアフリー化 (「交通バリアフリー法」や「京都府福祉のまちづくり条例」等に基づき、既存都市施設や公共施設のバリアフリー化を計画)	道路の新設・改良にさいしては、バリアフリー化を進めた。(平成18年度同)
	ユニバーサルデザインの導入促進() (新たに整備する施設にあつては、ユニバーサルデザインの導入を推進)	新たな公共施設については、ユニバーサルデザインに配慮した。(平成18年度 同)
福祉のまちづくりの推進	道路整備 (市道補修の際は、子どもやベビーカーに配慮し、必要な箇所に段差の解消、細目グレーチングの使用、危険箇所の転落防止策の設置)	()は平成18年度 新田辺駅前広場歩道改良 A = 538m ² (750m ²) 草内美泥排水路整備に伴う歩道整備 L = 120m(37.9m) 多々羅宮ノ口線道路改良ガードレール設置 L = 52m (新田辺駅前歩道切り下げ等)
	住宅整備 (市営住宅建設に当たつての配慮)	
まちづくり事業での配慮 (三山木地区特定土地区画整理事業関係)	鉄道高架並びに公共施設(公園等)の整備改善と宅地の利用増進	(再掲3-(2)-)
	街路事業、公園事業、高質空間形成施設整備事業、地域生活基盤施設整備事業、都市再生土地区画整理事業	(再掲3-(2)-)

ユニバーサルデザイン まちづくりや商品のデザインなどについて、能力あるいは障害のレベルにかかわらず、すべての人が利用しやすいデザインを最初から取り入れる方法